

泉南アスベスト国賠訴訟原告団 / 弁護団

●大阪・泉南アスベスト国賠訴訟原告団 / 弁護団

泉南アスベスト国賠訴訟の最終解決

ご支援 ありがとうございます。

大阪・泉南アスベスト国賠訴訟は、昨年10月9日、最高裁において勝利判決を勝ち取り、12月26日、大阪高裁に差し戻しになった1陣訴訟も和解が成立しました。これを受けて、今年1月18日、塩崎厚労大臣が泉南の地を訪れ、原告らに深々と謝罪しました。これをもって、泉南アスベスト国賠訴訟は、最終解決しました。しかし、8年半に及ぶ裁判の間に16名の原告が亡くなっており、解決の喜びとともに、もっと早く解決できなかったのかという痛恨の思いもあります。



泉南を訪れ、原告らに謝罪する塩崎厚労大臣 (1月18日)

りお礼申し上げます。

早期解決アピールへの賛同、院内集会への参加と激励、国会質問そして、政府への早期解決の要請など、国会議員の皆さんには、超党派で、泉南アスベスト国賠訴訟の解決に大きな力添えをいただき、あらためて心よ

一人残さず救済し、一人の被害者も出さない取り組みを続けています

訴訟は終結しても、泉南アスベスト被害の救済と根絶の取り組みは終わっていません。

3月24日には、未提訴であった14名の被害者が新たに提訴し、国との間で最高裁判決基準に基づき早期救済の協議を進めています。引き続き、泉南アスベストの被害者を一人残さず救済する取り組みを進めます。同時に、最高裁判決基準で救済されるべき被害者の全国的な掘り起こしも進める決意です。

また、大阪府の調査においても、泉南はじめ大阪府内の旧石綿工場には、石綿そのものや石綿繊維品などが残存していることが明らかになっています。二度と被害を発生させないために、行政に対して、残存アスベストの完全な除去を求めていきます。

「泉南石綿の碑」を建立

かつて「いしわた村」と呼ばれた泉南市信達牧野の地に「泉南石綿の碑」が建立されました。4月19日に行われた建立式には、原告団、弁護団、地元や東京、韓国からの支援者、さらに、地元市長や議員など、約200名が参集しました。冒頭、市民の会代表・柚岡一禎氏は、「人生を壊し、命を奪った石綿は、生活の糧でもあった。

現実、

怒りや悲

しみだけ

では語れ

ない。こ

の地で生

き、この

地で死ん

でいった

者たちに

捧げる

と「碑」

建立の思

いを語り

ました。

参加者

は、石綿被害の根絶にむけて改めて決意を固め合いました。

すべてのアスベスト被害の救済と根絶にご尽力を！

今なお、毎年2000名近くのアスベスト被害が発生しています。とりわけ、全国6カ所で取り組まれている建設アスベスト訴訟の解決は急務です。引き続き、すべてのアスベスト被害の救済と根絶にご尽力いただきますようお願い申し上げます。



「泉南石綿の碑」と、碑建立式に集まった人々 (4月19日)



